

# みなみあいづ

議会だより

第43号

平成29年1月25日



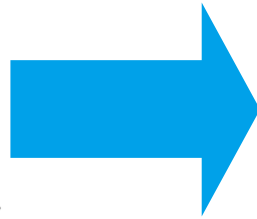
- 12月定例会・・・・・・・・・・・・・2頁  
議案審議
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・6頁  
7人の議員が町政を問う
- 各委員会行政視察研修の調査報告・・・・14頁

無火災への誓い新たに

町消防団出初式・無火災祈願祭

平成28年第4回定例会が、12月9日から16日までの8日間の会期で開催されました。町からは条例改正3件、平成28年度補正予算7件、その他の議案や諮問など6件が提出されました。

また、議会からは委員会提出議案5件、議員提出議案1件が提出され、慎重な審議が行われました。



今までは・・・

30万円未満の  
改築修繕費用は  
行政区が負担

平成29年4月1日から

改築修繕費用の  
基準額を15万円  
未満に引き下げ

※基準額を超える場合は、行政区と町がそれぞれ2分の1ずつ負担

## 集落集会所施設の修繕で

## 行政区の費用負担を軽減

### 集会施設等整備事業分担金条例を改正

**渡部訓正議員**

改正にあたり、参考にした基準は。

また、町の負担金の財源は。

**農林課長**

特に参考にした基準はなく、今後も各行政区で集会施設を維持するために、高齢化や地域のコミュニティを考慮して基準額を引き下げたものです。

なお、町の負担金は一般財源で賄います。

**渡部訓正議員**

集会施設以外で、同様の取り扱いはありませんか。

**総合政策課長**

本件は、町が所有する施設が対象です。

一方で、行政区が所有する集会施設もありますので、それらは集落集会施設建設事業の補助金交付要綱を改正し、同様に対応していきます。

**星登志一議員**

集会施設は緊急避難所にも指定されていますが、修繕費の規模によつて修理しにくい場合は、避難所としての機能低下も心配されます。今後の維持管理の考えは。

**町長**

地域の規模によつて、集会所は小さな施設でもよいという考えもあります。

地域住民との懇談をとおして、今後の維持管理を含めた施設の必要性などを検討します。

**星登志一議員**

大規模な施設は修繕費用も高額になり、町の負担も大きくなります。

国および県の補助事業や事業債を積極的に活用し、老朽化した施設の大規模修繕を働きかけるべきでは。

**総務課長**

公共施設等総合管理計画により、今後は施設ごとの管理計画を策定して有利な財源の確保に努めます。

議案第106号

平成28年度一般会計補正予算(第3号)

総務費  
地域おこし協力隊受入事業

### 隊員の活動状況は

山内 政議員

関係する予算が減額補正されていますが、その理由は。

山内 政議員

隊員の活動状況は。

総合政策課長

1期目の隊員は、館岩地域の前沢・たのせ地区で集落の活性化を、2期目の隊員は、田島地域の永田地区で空き家の活用に向けた取り組みを担当しています。

地域おこし協力隊員の異動状況

内容	人数
4月現在	4人
1期目：2人	
2期目：2人	
途中退任	
定住(1期目)	▲1人
婚姻(2期目)	▲1人
途中配置(12月)	1人
12月現在	3人

なお、12月から配置した隊員は、館岩地域の観光誘客に向けたコーディネートネートを担当しています。

衛生費

合併処理浄化槽設置整備事業補助金

### 減少要因の把握を

山内 政議員

467万1千円を減額補正する理由は。

環境水道課長

当初30基を予定していましたが、現在までの実績は19基です。

山内 政議員

実績の減少要因は。

環境水道課長

毎年20基程度で推移しているため、明確な要因は把握しにくい状況です。

1期目の隊員は、館岩地域の前沢・たのせ地区で集落の活性化を、2期目の隊員は、田島地域の永田地区で空き家の活用に向けた取り組みを担当しています。

なお、現在までの実績19基の内訳は、新築が7件、汲み取りや単独浄化槽からの改築が12件です。

合併処理浄化槽設置の推移

年度	設置基数	補助金額
平成23年度	22基	1,335万9千円
平成24年度	24基	1,351万5千円
平成25年度	25基	1,259万1千円
平成26年度	25基	1,268万7千円
平成27年度	25基	1,263万9千円

農林水産業費

間伐材等搬出促進費補助金

### 計画的な予算計上を

貝田美郎 議員

1414万1千円を追加補正する理由は。

農林課長

また、追加補正なので現状では未払いが発生していると思われるが、その時期は。

農林課長

当初の計画と実績見込額の差額(下表のとおり)を、追加補正するものです。

なお、9月末までの精算は完了しており、以降は未精算です。

貝田美郎 議員

10月以降、約2カ月間未払いの状態です。平成29年度も実施するのであれば、未払いが発生しない対応をすべきでは。

間伐材等搬出促進費補助金の比較

区分	単価		金額
	5,000円	7,000円	
当初の計画	4,000㎡	1,000㎡	2,700万円
実績見込み	6,516㎡	1,223㎡	4,114万1千円
差異	2,516㎡	223㎡	1,414万1千円

事業主体である町森林組合と協議しながら、精算までの手続きなどでスムーズな体制を構築します。

議案第106号

平成28年度一般会計補正予算(第3号)

土木費  
除雪委託料

### 待機補償は含まれるか

貝田美郎議員

5546万9千円の追加補正ですが、待機補償は含まれていますか。

と答弁されました。  
現在の状況は。

副町長

道路の除雪は待機補償の該当ですが、「道路以外の学校や公共施設などの駐車場の除雪にも待機補償を該当させるべき」との指摘を受けています。

建設課長

平成28年度に見直した、待機補償を含む追加補正です。

除雪事業者によって

は、民間と公共の両施設を請け負っている場合もあるので、再度検討して整理します。

### 通勤手当に制限を

その他

給与費明細書(通勤手当関係)

湯田賢太郎議員

電車通勤に支給する通勤手当に、距離的な制限はありますか。

湯田賢太郎議員

町外からの通勤に対する手当に、制限を加えるべきでは。

総務課長

居住地の最寄駅からの電車賃を支給するので、距離的な制限はありません。

総務課長

通勤手当の制限で、職員の居住エリアを限定するべきではないと考えています。



昨年に引き続き雪がない年明け  
(平成29年1月6日撮影)

## 第4回臨時会

平成28年10月24日

町からは、工事請負契約の議案1件が提出され、慎重な審議が行われました。

平成27年災町道古内平・竜伏線道路災害復旧工事

### 工期に影響は

山内 政議員

請負金額が1億円を超える非常に大規模な工事です。完成が平成29年3月31日ですが、繰り越しは想定していますか。

建設課長

1億円を超える工事の標準的な工期は270日です。工事の繰り越しが認められれば、工期の延期を視野に対応します。



平成27年の豪雨による被災箇所  
(平成27年9月13日撮影)

# 12月定例会

## 請願（陳情）の採択・意見書提出

12月定例会に提出された4件の請願は、それぞれ所管の委員会に付託され慎重な審議が行われました。

最終日、各所管委員会での審査結果が委員長より報告され、全ての請願を採択するとともに、関係機関に対して意見書を提出しました。

【平成28年12月定例会 請願一覧表】

受理番号	請願名	請願者	所管委員会 (審査結果)	意見書提出先
請願第4号	慎重な憲法論議を 求める意見書提出 の請願	南会津地区平和フォーラム 代表 黒沢 富夫 氏	総務委員会 (採択すべきもの)	衆議院議長 参議院議長 衆議院憲法審査会長 参議院憲法審査会長 内閣総理大臣 内閣官房長官
請願第5号	子どもの貧困対策 の推進と強化を 求める意見書提出 の請願	<sup>アイ</sup> 女性会議福島県本部南会津 支部 代表 室井ます子 氏	文教厚生委員会 (採択すべきもの)	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣 1億総活躍担当大臣
請願第6号	介護保険制度の サービス縮小を 行わないことを 求める意見書提出 の請願	公益社団法人 認知症の人と 家族の会 福島県支部南会津地区会 代表 青島ヤヨイ 氏	文教厚生委員会 (採択すべきもの)	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 経済再生担当大臣
請願第7号	東京オリンピック 関連施設への 南会津町産森林 認証木材の使用を 求める意見書提出 の請願	NPO法人 みなみあいづ 森林ネットワーク 会長 室井 武 氏 南会津森林認証推進協議会 会長 関根 健裕 氏	産業建設委員会 (採択すべきもの)	東京都知事 五輪担当大臣 農林水産大臣 環境大臣 復興大臣 林野庁長官

平成28年12月定例会の一般質問が、14日と15日の2日間にわたって行われ、通告した7人の議員が登壇し、町の対応や考え方などを問いました。

## 登壇順序・質問項目

- 1 **大桃 英樹 議員** ..... 7分  
①農業を次代に繋ぐために  
②新型特急乗り入れを観光産業振興の起爆剤に
- 2 **山内 政 議員** ..... 8分  
①地域防災について  
②観光交流事業の推進について
- 3 **渡部 訓正 議員** ..... 9分  
①木質バイオマス燃料の普及について  
②全国学力テスト結果への対応について
- 4 **森 秀一 議員** ..... 10分  
①伊南地域への「道の駅」整備について  
②統合による旧小・中学校体育館の有効活用について
- 5 **星 登志一 議員** ..... 11分  
①職員の不祥事と今後の対策  
②来年度予算編成と職の創出
- 6 **室井 嘉吉 議員** ..... 12分  
①平成29年度予算編成について  
②特急乗り入れの準備について  
③県立病院の充実について
- 7 **湯田 哲 議員** ..... 13分  
①高齢ドライバーの免許証の返納推進を  
②ワンコイン+町民パス券でバスが利用し易い環境を  
③授業用コンピュータの進化への早期対応を

# 一般質問

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。



町政を問う  
一般質問

# 水稻栽培の設備投資に支援を

町長＝担い手が安心して栽培できる体制を構築

**問**

新規就農で水稲を栽培する場合は、コンバインや乾燥機などの設備に多額の初期投資が必要で  
す。  
機械の購入を支援する考えは。

**町長**

土地利用型作物である水稲は、町にとって大変重要な作物であると認識しています。  
今後も、新規就農者を含めた担い手の方々が、安心して栽培できる体制づくりを進めます。

**問**

市民農園を設置して、町民が農業に触れる機会を創出している。

**町長**

本町は典型的な農山村地域であり、市民農園を設置する考えはありません。

**新型特急乗り入れへの準備は**

町長＝3つの柱で事業を検討

**問**

東武鉄道新型特急の乗り入れが迫ってきました。実施予定の事業と住民参加の機会は。

**町長**

町では、下表のとおり3つの柱による関連事業を検討しています。  
また、観光産業の振興には、地域を巻き込んだ観光誘客の仕組みづくりが必要だと認識しています。  
今後も、地域住民や商工会、観光物産協会などの関係団体と連携して取り組めます。

**問**

特急が走る沿線の環境美化や、耕作放棄地を利用した花の植栽などを考えるは。

**町長**

荒海地区区長会などで、沿線の景観整備を計画しています。  
また、各駅周辺の環境整備や花壇整備のほかに、車窓からの景観整備として桜やツツジを植栽するなど、地域の特色を生かした計画が進められています。

新型特急乗り入れに向けた検討内容

3つの柱	関連事業
①首都圏からの誘客	二次交通対策、バスツアー、教育旅行の誘致など
②会津地方から首都圏への送客	会津鉄道(株)と連携した町民号の運行など
③会津田島駅周辺の魅力向上	中心市街地まちなみ整備、まちなか観光案内人の育成、まちなか散策マップなど



# 浸水想定区域に要配慮者施設はあるか

町長＝いずれも浸水想定区域内にない

要配慮者施設一覧

区分	名称	避難計画の有無
介護施設	田島ホーム	
	伊南ホーム	
	南郷ホーム	
	湯花里苑	○
	グループホーム花南会津	○
	優雅が雅	○
障がい者施設	かがやき輝	
	あかまつ荘	
	ひかり園	
保育施設	あたご共同作業所	
	田部原保育所	○
	伊南保育所	○
	南郷保育所	○
	びわのかけ保育所	○
幼児教育施設	田島保育園	○
	館岩幼稚園	○
	あけ眺のほし星幼稚園	○

## 問

台風10号により、岩手県岩泉町では高齢者グループホームの入居者が死亡するという痛ましい被害に見舞われました。浸水想定区域に指定されていない地域での被災でした。本町の浸水想定区域に高齢者や障がい者、乳幼児などの要配慮者施設はありますか。

## 町長

本町の浸水想定区域内に、要配慮者施設はありません。

## 問

要配慮者施設に避難計画は整備されていますか。

## 町長

左表のとおり、17施設のうち10施設で計画を策定しています。

## 問

町内には、ラジオ放送が受信できない地域があるため、災害による避難先で情報が伝わらない可能性がります。難聴地域の解消に向けて、放送局と協議する考えは。

## 町長

非常災害が発生した場合、防災行政無線を利用して、NHK福島放送局の非常災害ニュースを放送することが可能です。

## 町長

しかし、普段からラジオ放送が聞けるように改善する必要もあるので、今後も放送事業者へ要望しながら、難聴地域解消に向けて取り組みます。

## 観光交流事業の推進策は

町長＝沿線自治体と連携

## 問

平成29年度以降の観光客入込数の増加に向けた観光交流事業は。

## 町長

東武鉄道新型特急の会津田島駅乗り入れを絶好の契機と捉え、台東区や日光市など沿線自治体と連携し、交流人口の拡大に向けた誘客対策を展開します。





# 特別養護施設への木質バイオマス燃料の普及を

町長＝今後も働きかけを進める

## 問

木質バイオマス燃料の活用は、循環型社会の形成と地産地消による地域経済の活性化が期待できます。

会津アストリアホテルの木質バイオマスボイラー活用の現状は。

## 町長

このボイラー施設は、平成28年11月に福島ミドリ安全(株)から町に無償譲渡されました。その後、同年12月から再稼働し、冬期間の熱需要に備えて本格的に稼働する予定です。

## 問

特別養護施設などへの新たな整備方針は。

## 町長

特別養護施設などへのボイラー導入の可能性は現在調査中ですが、導入が実現すれば一定の効果が見込まれるので、今後も関係機関へ働きかけます。



無償譲渡された木質バイオマスボイラー施設 (館岩地域高杖原地内)

# 全国学力テスト結果への対応は

教育長＝学力向上プランを作成

## 問

平成28年度の「全国学力テスト地区別平均正答率の順位」が教育事務所単位で公表され、南会津教育事務所管内の小中学校が県内で最下位でした。

教育向上の成果は一朝一夕には見えませんが、イメージ低下の払拭に向けた対策を講じるべきでは。

## 教育長

この調査は、学力の特定の一部分を測定するものであり、序列化や過度な競争にならないよう配慮されています。

しかし、調査結果を真摯に受け止め、各学校での課題を明らかにしながら、学習意欲や自信につなげるための学力向上プランを作成し、指導体制の充実に努めます。



# 伊南地域に道の駅の整備を

町長＝慎重な検討が必要

**問** 伊南地域には、観光客が気軽に立ち寄って観光情報を得たり、地域の特産物などを購入できる施設がありません。道の駅を整備する考えは。

**町長**

国道289号や352号の整備状況を視野に入れながら、設置場所や運営主体を含めて健全な運営の維持と地域拠点の機能強化など、慎重な検討が必要です。

また、第2次南会津町総合振興計画にも位置付けられていないため、現時点で伊南地域に道の駅を整備する考えはありません。

## 旧小中学校体育館の有効活用は

町長＝地域のニーズに沿って利活用

**問** 学校の統廃合により、学校施設として利用していない体育館があります。

各体育館の利用状況を整理し、観光誘客やイベントなどで幅広く活用すべきでは。

**町長**

現在、学校施設として利用していない体育館は4館あり、平成29年度は檜沢中学校の統廃合で5館になります。なお、各体育館の利用状況などは左表のとおりであり、旧伊南小学校以外の体育館は、引き続き地域のニーズに沿って利活用します。



解体が予定されている旧伊南小学校体育館

旧小中学校体育館の利用状況等

学校名	利用状況等
針生小	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ スポーツや高齢者団体、NPO法人などの活動</li> <li>◆ 県外の高校や大学の合宿などで通年利用</li> <li>◆ 引き続き利用が見込まれる</li> </ul>
上郷小	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 現代版組踊チームの練習</li> <li>◆ 地域のスポーツ少年団の練習</li> <li>◆ 引き続き利用が見込まれる</li> </ul>
伊南小	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 現在は閉鎖中</li> <li>◆ 将来的に解体予定</li> </ul>
南郷第二小	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 茅の保管場所として一時的に利用</li> <li>◆ 今後は、文化・スポーツ活動での町民利用や、類似施設改修時の代替施設、合宿誘致などによる利用方針を検討中</li> </ul>
檜沢中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校開放事業により利用中</li> <li>・ 平成29年度以降の利用は、利活用検討会議で協議中</li> </ul>



# 職員の不祥事と今後の対策は

## 町長＝上司による指導・管理を徹底

**問** 通勤手当に關する不祥事がありましたか、実害の金額と今後の対策は。

**町長**

電車で通勤している職員が、6カ月分の定期券を購入して手続きをしましたが、その日のうちに払い戻しをしていました。

以降の通勤方法を含めて実害は調査中ですが、その結果、懲戒処分<sup>①</sup>に該当する事実が確認された場合は、再度懲戒審査委員会を開催して報告します。

今後は、同様の不正行為を防ぐためにも、上司による指導・管理を徹底します。

**問**

守秘義務に關する不祥事もありましたか、守秘義務違反は明確に規定されていますか。

**町長**

町の条例や規則などでは規定していませんが、地方公務員法では、「職務上知り得た秘密を漏らしてはならない」とされています。

**問**

守秘義務により、職員の間での発言の規制や発想力の低下が懸念されま

**町長**

本件は、職務上知り得た秘密をSNS<sup>②</sup>を介して不特定多数に故意に漏らしたため、守秘義務違反で処分に至りました。

今回の処分<sup>③</sup>で、職員<sup>④</sup>の発言の規制や発想力の低下には結びつかないと考えています。

## 平成29年度の新たな雇用対策は

町長＝現在の支援制度を効果的に運用

**問**

平成29年度の、雇用対策に關する新たな事業計画は。

**町長**

新規事業の予定はありますが、現在実施している支援制度を継続し、より効果的な運用に務めます。

**問**

過去の政策と実績は。また、今後の方針は。

**町長**

緊急雇用創出事業では、過去5年間で延べ398人が雇用されました。

また、青年就農給付金の交付を受けた新規就農者が、過去4年間で延べ34人となっています。

しかし、建設業分野や介護福祉分野での人手不足が際立っている<sup>⑤</sup>ので、雇用のミスマッチの解消と若者定着を重点に取り組みを進めます。

### 用語

<sup>①</sup> SNS (ソーシャルネットワークキングサービス) 共通の趣味を持つ人達との交流の場を、インターネット上で構築するサービスの総称

「Facebook (フェイスブック)」や「Twitter (ツイッター)」などが有名



# 平成29年度予算編成の考えは

町長＝若者定着、子育てなどの支援で地域力を向上

平成29年度の5つの重点施策

区分	内容
働く環境と町民所得の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 新規就農者の支援</li> <li>◆ 地場産業の振興</li> <li>◆ 企業の人材育成や経営基盤の強化</li> </ul>
福祉と子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 年長児童の保育料無料化の継続</li> <li>◆ 妊産婦の不安と負担の軽減</li> <li>◆ 高齢者などの社会的弱者に対する介護・医療・生活支援の連携による総合的な支援</li> </ul>
地域力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ I・Uターンによる移住定住の促進と定住者への支援</li> <li>◆ 4地域の特性を生かした地域づくりの推進</li> <li>◆ 集落内で助け合う力を強化するための集落支援</li> </ul>
東武鉄道新型特急の会津田島駅乗り入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 交流人口の拡大</li> <li>◆ 地域経済活性化に向けた情報発信と観光客の受入体制を整備</li> </ul>
関東・東北豪雨災害からの着実な復興	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 被災施設の復旧</li> <li>◆ 生活基盤・生産基盤の着実な復興</li> </ul>

## 問

平成29年度予算編成の基本的な考えと重点施策は。

## 町長

「新しい潮流を創造し地域活力の向上を目指す！ 働く環境、子育て環境、移住定住の充

実」をスローガンに予算を編成しています。なお、重点施策は左表のとおりです。

## 県立病院の診療体制の充実を

## 問

県立病院を地域振興に活用

する方針が、第3次県立病院改革プランに盛り込まれます。

地域振興の立場では歓迎されますが、まずは診療体制の充実を最優先すべきです。

町の考えは。

## 町長

県立南会津病院は、南

会津地域医療の中核機関として大変重要な役割を担っています。

第3次県立病院改革プランの策定では、町は同病院の眼科、精神科、産婦人科などの充実を盛り込むよう強く

要望するとともに、郡内4町村や各議会と連携して病院機能の充実強化を関係機関に要望しています。

なお、県立病院を地域振興と結びつける取り組みは現在まで町に示されていません。

また、現段階で同病院を改革プランに盛り込む考えはないことを確認しています。

## その他の質問

・特急乗り入れの準備について



# ワンコインでバスを利用しやすい環境を

町長＝利用しやすい交通の在り方を検討

## 問

利用者が少ない赤字路線でも、町の助成金によってバス交通を確保しています。  
そこで、近距離ならばワンコイン100円、遠距離でも200円の低料金とし、一人でも多くの町民に利用してもらおう環境を整えるべきでは。

## 町長

利用者が少ないことは以前からの課題であり、利用者の意向調査や試験運行を実施してきました。  
ワンコインバスなどの提案も施策の一つと捉え、集落が点在する地理的な要因や医療、買い物といった生活拠点との関わりなど、町民がより利用しやすい効果的かつ効率的な公共交通の在り方を、引き続き検討します。

### その他の質問

・高齢ドライバーの免許証の返納推進を

### 用語

※ICT教育  
電子黒板やタブレット端末などの、情報通信技術を活用した授業

## ※ICT教育の積極的活用を

教育長＝適切な時期を見極め導入

## 問

ICT活用教育のモデル校として、南郷小学校と荒海中学校に電子黒板とタブレット端末が導入されました。  
授業の状況と、先生や児童生徒の感想は。

## 教育長

児童生徒へのアンケートの中でも、「楽しい」「分かりやすい」「ICT機器での授業を増やしてほしい」といった回答が多く、学習意欲の高まりと理解の深まりが感じられます。

## 問

他の10校へも、早期に導入すべきでは。

## 教育長

児童生徒が自らICT機器を操作することで、教育大綱の基本目標である「自ら学ぶ人の育成」が期待できます。  
各校への導入は、既存の教育用パソコンのリース残期間なども考慮し、適切な時期を見極めて導入します。



ICT機器を使用した授業の様子（平成28年11月4日 荒海中学校）

総務委員会

楠正次・貝田美郎・室井英雄  
菅家幸弘・星登志一・五十嵐司

平成28年10月4日(火)～6日(木)

北海道東川町

人口増加と移住・定住対策

北海道上富良野町

移住・定住対策

オンラインワンの  
多様な取り組み

北海道東川町の人口は、昭和31年6月の1万814人をピークに減少し、平成5年には7千人を割りこみました。

そこで、町の特性を生かした魅力ある施策を目標に掲げ、「子育て支援」「起業家支援」「町有地の宅地造成・分譲」を進めてきた結果、平成7年から徐々に人口が増加し、平成28年3月末現在の人口は8018人です。

東川町の人口増加や移住・定住対策の主な取り組み

事業名	事業内容
東川風住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「豊かな暮らしや暖かさは住まいから」という考えのもと、ふさわしい住宅の基準などを策定</li> <li>◆住宅を新築する場合、カーポートや物置の建築費の2分の1(上限50万円)を助成したところ、平成18年度以降は90棟以上が新築</li> <li>◆Uターン者に対しても、新築は200万円、改築は100万円を助成</li> </ul>
君の椅子プロジェクト	◆誕生した子どもに、「シリアルナンバー」「氏名」「生年月日」を刻印した「世界に一つだけの椅子」を贈ることで、町民の絆と連携意識が高揚
起業家支援	◆固定資産の取得費用の3分の1以内(上限100万円)を助成し、平成15年度から平成27年度までに80件を超える起業家を支援

人口増加や移住・定住対策の主な事業は左

表のとおりです。オンラインワンの事業が多く、特に「君の椅子プロジェクト」は、子どもの誕生を町全体で祝福し、健やかな成長を見守ることで、東川町民であることに誇りが持てる取組みにつながっています。

定住移住促進  
計画の策定

北海道東川町の人口は、昭和30年の自衛隊駐屯により急増し、昭和33年のピーク時には1万9182人でした。

しかし、以降は減少が続き、平成12年から平成22年までの10年間で、少子化などの自然減少や転出などの社会減少で約1200人が減少し、1万1543人になりました。

このため、平成23年3月に「上富良野町定住移住促進計画」を策定し、さまざまな施策を定住移住希望者に対して分かりやすく、きめ細かに対応できるワンストップサービス体制の充実と強化が進められています。

計画策定以降の平成23年度から平成27年度

までの移住実績は、確認できた範囲で41件66人となっています。

調査結果

両町を視察して、あらためて南会津町も南会津らしさの追求と生活環境をつくるために、人材や産業の育成が重要です。

また、町職員の意識として「前例がない」

「お金がない」などの出来ない理由を探さず、「どうすれば出来るか」という徹底した姿勢も必要です。

移住・定住先に選択されるためにも、究極の住民サービスとオンラインワンの事業展開で、町民が町に誇りを持ち、協力を惜しまず、郷土愛が育まれる町を目指して取り組む必要があります。



上富良野町での視察の様子

産業建設委員会

平成28年11月8日(火)～10日(木)

湯田賢太郎・森光秀・湯田良一  
湯田哲・星光久

佐賀県農業試験研究センター

長崎県波佐見町

アスパラガス栽培

長崎県諫早市

有害鳥獣対策

灌水技術の確立と  
高温・排水対策

佐賀県農業試験研究センターでは、降雪がないための長期間収穫、ハウス栽培での灌水技術の確立、夏の高温対策や排水対策、土づくりのための施肥基準の確立などに取り組んでいます。

調査結果

寒暖差の大きい南会津町では、夏の高温対策が比較的必要ないの中で、病虫害対策をはじめとした栽培技術の向上で、生産者の所得向上が期待できます。

新規栽培者への補助

長崎県波佐見町では、アスパラガスを初めとして、水稲、麦、大豆、茶の栽培が盛んです。

特に、アスパラガスはハウス栽培を主流とし、ハウス建設に対する補助や苗の購入補助で、新規栽培者の増加に取り組んでいます。

調査結果

南会津町では、高品質のアスパラガスを生産できる下地が充実しています。

資材などに対する補助制度を充実させ、農家負担の軽減で新規栽培者の増加に取り組むことで、「会津田島アスパラガス」の知名度の向上が期待できます。

有害鳥獣被害対策

長崎県諫早市では、「電気柵」「ワイヤーメッシュ柵」の設置や捕獲奨励金制度など、有害鳥獣から農産物を

守る対策を、自治会や猟友会を中心に取り組んでいます。

また、鳥獣肉の有効活用と埋設処理の負担を軽減するため、鳥獣肉処理加工施設を建設し、その運営を「諫早市鳥獣処理加工販売組合」が担っています。

調査結果

諫早市の有害鳥獣対策は、主にイノシシです。

対象となる有害鳥獣の違いはありますが、地域と行政が一体となつて対策を講じていることが、被害の軽減につながっていると感じました。

また、鳥獣肉の加工販売は、福島県では放射能の課題もあるので直ちに事業化はできませんが、将来的に検討が必要です。



佐波見町のハウス栽培を視察



諫早市で設置する電気柵

文教厚生委員会

大桃英樹・山内 政・室井嘉吉

平成28年11月8日(火)～10日(木)

奈良県河合町

地域包括ケアシステムの構築

奈良県奈良市

〔社〕SPSSラボ若年認知症サポートセンター「ぎずなや」

地域資源を使った若年性認知症対策

医療と介護の連携が重要

奈良県河合町では、介護サービス計画に対して医療面の相談が多くなったことをきっかけに、社会福祉協議会と連携して医療と介護の関係者にアンケート調査を実施したところ、互いの分野に対する認識や理解の不足が明らかになりました。

そこで、医療と介護の情報共有こそが利用者には有益になると判断し、関係者による交流会や研修会を開催しな

調査結果

から信頼関係の構築とスキルの向上に取り組みました。

また、情報を共有するネットワークシステムの導入で、サービス利用者の情報がリアルタイムで確認できるため、関係者の的確な指示によるきめ細かなサービスの提供が可能です。

する情報と対象者の検討も必要です。  
国は2025年を目

きめ細かいサービスの提供につながりましたが課題も多く、サービス利用者の利用状況や経過、医療機関からの指導など、常に情報を入力・確認する必要があり、対象者が増える対応が厳しいようです。

情報共有するためのネットワークシステムは有効ですが、共有

途に、自治体の主体性と地域の特性に合う「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。

河合町のように町と社会福祉協議会が同じ課題意識を持ち、「医療と介護の連携」に着目した体制づくりと計画づくりの実践が望まれます。

地域とつながる取り組み

「ぎずなや」は、若年性認知症対策と奈良市追分地区の地域振興を目的に発足した一般社団法人で、市内外から1日3人、週10人を受け入れながら、同地区の荒廃した「梅林」の復活に取り組んでいます。

地域住民の願いと、若年性認知症のサポートが一体となったこの取り組みは、現在は梅林整備と併せて薬用植物の「大和橘」も栽培し、地元商店の協力を得て商品開発も進められています。

調査結果

若年性認知症は、年齢の若い時期に発症することで発見が遅くなる場合が多いとされています。

また、社会的な認知度が低いことも、その要因の一つです。  
地域が患者を理解し、共に喜びを分かち合う社会にするためにも、多様な視点や考えを集めながら対策を周知していくことが必要です。



河合町での視察の様子



薬用植物「大和橘」



議会広報委員会

平成28年10月26日(水)

群馬県玉村町

星 光久・森 秀一・貝田 美郎  
室井 英雄・室井 嘉吉

議会広報紙の作成の取り組み

編集方針

群馬県玉村町の議会だよりは、読みやすく解りやすい紙面づくりを心がけ、写真の使い方や配置、紙面のレイアウトや文字の大小のバランス、さらに適度な余白のとり方などに注意しています。

また、難しい役所言葉はできるだけ使わず、やむを得ず使用するときは解説が付けられています。

多くの方に手に取ってもらえるような、特徴ある紙面づくりを目指しています。

調査結果

① 一般質問の編集

通告者が要約原稿を作成する方式で、会議閉会后に第一答弁書と録音テープを配付し、原稿と写真を添えて提出しています。

なお、再質問も掲載しているので、第一答弁書のみで対応している「みなみあいづ議会だより」と比較すると画期的です。

② 広報誌の印刷

紙面の構成やレイアウトなども含めて印刷業者に委託しています。

まずは編集する際に、広報委員会で掲載

する記事や編集方針、ページ割りなどを決定し、各委員が割り当てられた原稿と写真などの資料を準備するのみで、編集の負担が相当量軽減されていきます。

さらに、印刷業者が作成したゲラ刷りを基に校正することで、同町では編集方針が十分達成されていると感じました。



玉村町での視察の様子

議会報告会 (70回)

— 町民と共に歩む議会であるために —

9月定例会の結果を1会場で報告

貝原区・角生区・湯ノ花区・水引区

日時	10月30日(日) 午後6時00分から
会場	湯ノ花温泉交流センター
参加者	区長ほか29名
出席議員	大桃 英樹・貝田 美郎・湯田 良一 湯田 哲・山内 政・星 登志一
質疑事項	① 町税滞納額が多い理由は ② 鳥獣対策の内容は
要望・意見	① ラジオが聞こえない地域の解消を ② 貝原地区の素掘り水路の解消を ③ 新型特急乗り入れを踏まえて、館岩地域への二次交通対策を



※質疑事項および要望・意見は一部のみ掲載しています。なお、いただいた意見や要望は所管委員会で調査し、結果を各区長宛に回答しました。

## 1 2月定例会傍聴のようす たくさんの方が議会を傍聴されました



## 正月の恒例行事 初老の大厄を祓う「みかんまき」 平成3年度田島中学校卒業生



— 明けましておめでとうございます —

議会のタイムリーな情報をいち早く皆さんにお届けするために、  
議会広報委員会は、今年も議会だよりの早期発行に取り組みます。  
どうぞよろしくお願ひします。

### 議会広報委員会

委員長 星 光久  
副委員長 森 秀一  
委員 貝田 美郎  
丸山 陽子  
室井 英雄  
室井 嘉吉

## 議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か

議会を傍聴する手続きは簡単です。  
本庁3階の議場傍聴席入り口で住所と  
氏名を書くだけです。  
傍聴席では、提出された議案も閲覧で  
きます。

平成29年第1回定例会

3月10日(金)開会予定

【発行】福島県南会津町議会 【編集】議会広報委員会 【印刷】馬場印刷所  
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲3531-1 TEL:0241-62-6310 FAX:0241-62-1288

【ホームページ】<http://www.minamiaizu.org/gikai/>